

『歴史からの学び』 ～ 『ニューモア溢れる会話』 ～

2023 年 4 月 29 日、講演会『北総がんカフェ in 佐原 & 小見川：樋野興夫先生 特別講演会 ～ なぜ、がんカフェをはじめたのか？』に招かれた（画像）。【『ひばりヶ丘駅→池袋駅→日暮里駅→京成成田駅→成田駅→佐原駅』の電車の旅】であった。『佐原は、江戸時代から利根川水運の中継港として発展し、商人の町として栄えました』と説明されている。国の『史跡』に指定されている小野川の川沿いにある『伊能忠敬(1745-1818) 旧邸、記念館』を訪れた。『伊能忠敬は、1800 年から 1816 年まで 17 年をかけて、日本全国を測量し、「日本地図」を作りあげた人物』と謳われている。

講演会は、総合司会：小見川教会の山田称子牧師、会場担当：佐原教会の三吉小祈牧師、ユーカーが丘教会の大串眞牧師の『開会の挨拶』で始まった。最初にドキュメント映画『がんと生きる言葉の処方箋』の一部が上映され、筆者の講演の後には、3 人のパネリスト（佐々木はとみ氏、小林みどり氏、藤原琢哉氏）によるパネルディスカッションであった。小林みどり氏は、浄土真宗のお坊様であったので、【『空海（774-835）、最澄（767-822）、法然(1133-1212)、親鸞（1173-1263）は、聖書を読んでいたか？ 空海（真言宗）、最澄（天台宗）は遣唐使として留学していた。空海は新約聖書、最澄は旧約聖書を日本に持ち帰ったのか？ 遣隋使の時代の聖徳太子（574-622）の『17 条憲法』、親鸞の『歎異抄』には聖書的な言葉もありますね!?】とさりげなく質問した。筆者の島根県出雲市鷺峠の実家は、法然の浄土宗の檀家で、中学生、高校生時代、浄土宗の開祖法然に関する本、弟子の浄土真宗の宗祖親鸞の教えの『歎異抄』を熟読したものである。『歎異抄』に『人種、性別、年齢、能力、貧富に関係なく、誰もが平等に「人間に生まれて良かった」と言える』とある。筆者は、昨年（2022 年）は『あんしんカフェてんねん』1 周年記念イベントでの記念講演で青梅市の『天寧寺』に赴いた。『天寧寺』は鎌倉時代の道元(1200-1253)（中国の宗に渡り、1227 年に帰国）のゆかりの鎌倉時代に始まる曹洞宗の寺院である。帰りは、成田教会の上田博子牧師、佐々木はとみ氏、高橋あや氏と佐原駅から同席し、『ニューモア溢れる会話』で大いに盛りあがった。今回は、大変有意義な充実した貴重な『歴史からの学びの佐原の旅』となった。

2023.4.29 Sat 14:00~16:00

# 北総がんカフェ in 佐原 & 小見川

## 樋野興夫先生 特別講演会

### なぜ、がんカフェをはじめたのか？

特別講演・パネルディスカッション

佐々木はとみさん  
藤原琢哉さん  
小林みどりさん

今や二人に一人が「がん」を患うと言われています。闘病中は、がん患者と家族だけで不安や悩みを抱えてしまいがちです。そんな時、一緒に不安や悩みを共有し、「がん」に負けずに明るく生きていく仲間づくりができないかと、「がんカフェ」の活動が始まりました。お茶を飲みながら、笑いあり、涙あり、気軽に話し合う、癒しの場である「がんカフェ」を、この香取市でも始めたいと願っています。

がんについて考えたい方、がん患者の方、ご家族の方、どなたもお気軽にお越しください。



がん哲学外来 提唱者  
樋野 興夫 (ひの おきお)

順天堂大学名誉教授。一般社団法人 がん哲学外来名誉理事長。  
新渡戸記念中野総合病院・新渡戸稲造記念センター長。恵泉女学園理事長。

日時：2023年4月29日(土・祝) 14:00~16:00 (開場13:00)

場所：日本基督教団 佐原教会 \*駐車場あります

〒287-0003 香取市佐原イ1858-1

アクセス：JR成田線 佐原駅より徒歩16分

会費：無料 \*お飲み物ご持参ください

申込：メール [hokusougancafe@gmail.com](mailto:hokusougancafe@gmail.com)

または お電話 080-3159-6561 (大串)

マスク・アルコール消毒  
のご協力をお願いします

主催者：がん哲学外来 北総がんカフェ (代表：大串 真)

後援：一般社団法人 がん哲学外来、NPO法人 ホップ・ステップ・ハッピー

コーディネーター：福原俊二郎・幸子